

臨 岬 浄 化 セ ン タ ー

処理フロー図



概 要

住 所	長崎市臨岬町 3803-6
敷 地 面 積	約 3,100m ²
地 盤 高	TP+22m
下水排除方式	分流式
処 理 方 式	水 処 理 OD 法 汚泥処理 機械濃縮+搬出処分
処 理 能 力	日最大汚水量 1,000m ³ /日

経 過

平成11年3月	下水道事業計画認可（当初）
平成11年	臨岬処理区管渠工事着手
平成15年3月	下水道事業計画変更（全体計画見直し）
平成16年3月	臨岬浄化センター用地造成工事着手
平成21年3月	下水道事業計画変更（期間延長）
平成21年4月	臨岬浄化センター供用開始

主要設備

① スクリーンユニット

流入下水中のゴミや砂を分離し、ゴミは脱水処理します。

② オキシデーションディッチ

汚水に空気を加え、微生物の働きによって有機物を分解し、沈みやすい活性汚泥に作り変えます。

③ 沈殿池

活性汚泥をゆっくりと流し、汚泥は沈殿させ、上澄み液は塩素混和池に流します。

④ 塩素混和池

きれいになった水を消毒し放流します。

⑤ 汚泥濃縮機

余った汚泥を濃縮します。貯まった濃縮汚泥は定期的に場外搬出します。

⑥ 脱臭装置

特殊な土壌に臭気ガスを接触させ無臭にします。

場内配置図

